

佐藤壽三郎の議員活動詳報 ことぶき月報 (No.218) 2016年11月号

終世書生気質：[ブログ・千曲のかなた](#) (日々の議員活動をお伝えしています)

須坂市議会 12月定例会は平成28年11月22日招集されました。
会期は12月13日までの22日間です。

1 私の議会内議員活動

(1) 今12月定例会に上程された議案は以下のとおりです。

1) 事件決議案2件

- 市道の認定について：蒔田公園西線
- 市道の変更について：穀町8号線、坂田原滝ノ入線、本郷宮原滝ノ入線、塩川八幡2号線(新路線名：臥竜線)、九反田井上線、幸高井上1号線、野庄七三河原境線、竹ノ春3号線

2) 条例案7件

- 須坂市消費生活・特殊詐欺被害防止センターの設置並びに組織及び運営等に関する条例の制定について
⇒消費者安全法の条例化
- 須坂市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について
⇒雇用保険法改正に伴う改正
- 須坂市市税条例の一部を改正する条例について
⇒帳簿保存期間1年を地方税法の規定と併せて7年間にする
- 須坂市手数料徴収条例の一部を改正する条例について
⇒手数料の種類の規定を改めるため
- 須坂市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
⇒地域密着型通所介護の事業の人員、設備及び運営基準制定のため
- 須坂市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 須坂市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

3) 補正予算案10件

- 平成28年度須坂市一般会計補正予算第4号
⇒歳入歳出それぞれ535,805千円を追加する。
- 平成28年度須坂市国民健康保険特別会計補正予算第3号
⇒歳入歳出それぞれ225千円を追加する。
- 平成28年度須坂市介護保険特別会計補正予算第3号
⇒歳入歳出それぞれ1,682千円を追加する。
- 平成28年度須坂市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号

⇒歳入歳出それぞれ 756 千円 を減額する。

○平成 28 年度須坂市水道事業会計補正予算第 1 号

⇒ 収益的収入 2,739 千円
収益的支出 △2,842 千円
資本的収入 △2,560 千円
資本的支出 △2,363 千円 をそれぞれ追加する。

○平成 28 年度須坂市下水道事業会計補正予算第 2 号

⇒ 収益的収入 280 千円
収益的支出 △11,311 千円
資本的収入 △41,200 千円
資本的支出 △41,490 千円 をそれぞれ追加する。

○平成 28 年度須坂市宅地造成事業会計補正予算第 1 号

⇒ 資本的支出 1,096 千円 を追加する。

○平成 28 年度須坂市一般会計補正予算第 5 号

⇒歳入歳出それぞれ 169,623 千円 を追加する。

○平成 28 年度須坂市水道事業会計補正予算第 2 号

⇒ 収益的支出 878 千円
資本的支出 251 千円 をそれぞれ追加する。

○平成 28 年度須坂市下水道事業会計補正予算第 3 号

⇒ 収益的支出 187 千円
資本的支出 117 千円 をそれぞれ追加する。

4) 請 願

○免税軽油制度の継続を求める請願

請願者 菅平峰の原グリーン開発株式会社

(2) 今定例会で争点になると思われる議案等について。

1) 消費者庁の設置に伴い、消費者の生活における安全を確保するために制定された法律に基づく、「須坂市消費生活・特殊詐欺被害防止センターの設置並びに組織及び運営等に関する条例の制定」案が上程されましたが、私は、条例を制定せねば、もはや市民の生活における安全を確保がままならないほどに犯罪が横行しているのかと感じます。

捜査権限や逮捕権を持たない市が、この条例の運用によって、果たして「消費者の生活における安全を確保する」ことが可能なのでしょうか。「行政の壁或いは行政機関の限界」に相談者が結果的に落胆するようでは、悪法の誹りを受けませんかと心配です。

(3) 議会運営委員会

平成 28 年 11 月 14 日、於：議会第 3 委員会室

◇協議事項

①・12 月定例会の議案等について。②会期日程について。③招集日の議事日程及び議案の取扱いについて。④全国瞬時警報アラームの実施日 11 月 29 日

午前 11 時について。⑤一般質問の通告日について。⑥地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の取扱いについて。⑦須高ケーブルテレビによる議会中継について。⑧タブレット端末に関する対応について。⑨その他を何れも同意。

(4) 今定例会の一般質問で私が取り上げた課題です。

件名 1 みんなが助け合い健康に暮らせる須坂として。

相模原市の知的障害者施設で入所者が多数死傷した事件に鑑み、国・県は障害者施設等の防犯対策を強化するとのこと。これに呼応して須坂市も早急に警備を図られるべきと思います。

1 障害者施設等の安全強化策について

- ① 障害者施設等に対して、須坂市が防犯対策に取り組む姿勢について。
- ② 施設での防犯カメラの設置等について、国と県が4分の3を負担する助成を生かした整備を進めるべきでは。

件名 2 安心・安全に暮らせる須坂のためとして。

今年の1月に軽井沢町で起きたスキーバス事故では15人の尊い青年の命が奪われてしまいました。10月6日時点での交通事故により96人が死亡。既に昨年1年間の死亡69人を大きく上回っています。夜間や高齢者、歩行者の事故が目立っているとのことであります。長野県のHPを見るに、事故の内容は、単独事故の死者は48人と前年同期比30人の増加、夜間の事故の死者も45人で25人増。65歳以上の高齢者の死亡事項は48人で19人増とのこと。

長野県警は「死亡事故は増えているが、事故は減っているという特殊な傾向を示している。運転者と歩行者の双方が油断や過信をなくすよう啓発したい。反射材を着けていなかった犠牲者が殆んどだったのも残念」とのことです。

1 死亡事故多発で非常事態宣言を下した長野県について

- ① 過去10年間で最悪のペースになっている交通死亡事故についての状況把握について。
- ② 飲酒運転の違反検挙数が増えていることについて。
- ③ 須坂市におけるこれらの強化対応策について。

2 須坂市内に点在するため池の耐震性について。

- ① 竜ヶ池は地震時に堤が破損等の恐れはないか。

3 大北森林組合事件と森林税について。

- ① 大北森林組合をめぐる補助金不正受給事件で、2億円以上の森林税を大北森林組合が不正に受け取っていたことについて、須坂市は把握しているか。
- ② 長野地方事務所管内において、昨年度は里山の間伐の実績が落ちて、2億円余りの森林税が使われずに今年度に繰り越されたことを、須坂市は把握しているか。

件名 3 みんなの活力を支える須坂であるために

フランスでは、ジビエ料理は古くから最高の料理であると言われているようです。領主が領地の野山で野生の鳥獣を射止めて、この獲物を捌いて食材にして料理して皆に振る舞うとのこと。

最近、日本でも野生のシカやイノシシを食することが流行っているようです。日本も「マタギ」が山中に分け入って熊や猪を捕獲して食した話は有名です。

長野市は若穂・保科の高岡にジビエ加工施設を整備して、有効活用して地域の活性化につなげようとしています。須坂市も昨年度実績で、シカ9頭、イノシシ38頭、クマ2頭、カモシカ5頭が捕獲されております。これらのジビエ食材を、長野市の加工施設を利用させて捌いて頂いて、食材として須坂市内の焼き肉店の卸してあげれば、須坂市でのジビエ愛好家によって、ワインと共に地域の活性化に繋がるとことが期待されます。そこで、

1 ジビエ料理ブームについて

- ① 須坂市で捕獲されたシカやイノシシを、長野市が整備したジビエ加工施設を利用して、この須坂でのジビエ料理として流通活用できないか。
- ② ジビエにおける寄生虫やウイルスについての注意喚起について示して下さい。

件名4 みんなが快適に生活できるまちづくり

白馬の大雪渓が雪不足で9月1日から交通止めになりました。原因は雪不足の影響で雪渓の所々に割れ目があり崩落の恐れがあるため、登山者の安全を考えての措置のようです。地球温暖化による自然破壊の現象として、如実に我々の身近に迫ってきていると思います。大いに関心を持たなければなりません。

- 1 白馬大雪渓が9月1日から通行止めになったことでの信州の自然破壊について
 - ① 須坂市の山岳地帯は雪渓がこそないが、山林等に自然破壊の兆候と見られる事象はあるのか。
 - ② 未調査であれば、早急に調査すべきことと思うが如何か。
- 2 県内は15年前の約2倍の推定生息数3,940頭のツキノワグマがいると言われている。
 - ① 須坂地域にも当然比例して相当の生息数が増えていると思われるが、農林課は実態を把握しているか。
 - ② 生息数と捕獲等の対応について。

件名5 安定した財政運営が叶う須坂に

政府・与党内では、現行の経済統計手法では、統計の制度が低いのではないかの疑念が浮上してきているようです。

政府が示す様々なデータや指針が経済統計数値と乖離しているものを、国民に説得力ある数値に近づける意図であれば、これは改竄とも受け取られてしまいます。定着している経済統計手法を変えることは慎重になされなければ、グローバル化が実践されつつある現在、国内ルールが国際ルールにまで波及することを考えるとき、日本だけの経済統計手法の見直しが必要かとも思われます。

何故統計を見直すのか。如何なる問題が生じているのか。依って立つ改

善策は等についてご教示願います。

- 1 経済統計を見直すべき議論について
 - ① 政府・与党内に統計を見直す論議があるが、この論議を須坂市は把握しているか。
 - ② 現行の経済統計手法では正確な政策は打ち出せないのか。具体的な事例を示してください。
 - ③ この見直し論議の対応について。

件名6 政治・経済の動向について

政治・経済に関わる凡そ3ヶ月間の政治経済の流れを、時事通信通信、信濃毎日新聞、SBC、NHK、日本経済新聞、毎日新聞等を読み解いてみました。このことを念頭に以下の質問を致します。

- 1 アベノミクスは成就できるのか
 - ① 一世帯あたりの消費支出は実質で前年同月比4.6%減少している現況について。
 - ② 企業物価、2.7%下落＝マイナス幅は縮小→10月（日銀）の状況について。
 - ③ 4度目の「官製春闘」である賃上げ頼みでは、到底アベノミクスは成就できると思えないが如何か。

2 長野広域連合議会

平成28年11月28日、長野市国際21において、11月定例会を開催しました。

- ① 平成28年度長野広域連合議会老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算。長野広域連合職員の退職管理に関する条例。監査委員の選任を何れも原案どおり議決しました。
- ② 平成27年度長野広域連合一般会計・各特別会計決算の認定をしました。
- ③ 議長外委員長の役員改選が行われ、以下の議員が新たに選出されました。
議長：高野 正晴 議員（長野市）
副議長：北澤 雄一 議員（須坂市）
総務文教委員会 委員長：佐藤壽三郎 議員（須坂市）
副委員長：塚田 正平 議員（坂城町）
福祉環境委員会 委員長：和田 英幸 議員（千曲市）
副委員長：青柳 秀吉 議員（信濃町）
議会運営委員会 委員長：小泉 栄正 議員（長野市）
副委員長：酒井 康臣 議員（高山村）

3 私の議会外議員活動

(1) 市関係

○H28年度須坂市戦没者追悼式

平成28年11月8日須坂市主催の式典がメセナ小ホールにて催されました。遺族会関係者、市議会議員、区長外関係団体の代表者が参列し、献花をして戦死された先人の御霊に誠を捧げました。

(2) 境沢町関係

○11月3日第33回境沢町区民文化祭が開催され、出席しあいさつをいたしました。区民の皆さんの構成によるクラブ活動の発表を拝見しました。

○11月11日境沢町公会堂にて開かれた、境沢町農家組合幹事会に出席して、中堰地域の水路についての陳情の取り纏めをしました。

(3) 陳情・請願の受理と取次

- ① 米持町住民から、水道水に関わる苦情申出があり、水道局に取次。←市は早急に対応。
- ② リニア中央新幹線のトンネル掘削で生ずる「ズリ」を千曲川の土手の改修建材として利用できないかと、まちづくり部長に具申⇔市は千曲川河川事務所と協議する。
- ③ 境沢町の農家組合からの中堰地籍における畔・水路改修陳情の申出（継続）を道路河川課に陳情取次。⇔市は来年度予算で対応。

4 研究・地方議会と市議会議員

『地方議員の資質と役割』についての考察

地方自治は、国政と違って公選された首長と公選された議員で成り立っています。議会と首長(市長)は両輪に例えられる由縁です。しかし両者を比較した場合に、住民は市長(行政部局)から行政サービスの提供を直接受けることもあり、市長の行動が派手に映ります。議会は請願や陳情での接触、一般質問のTV放映以外は馴染みが薄いと言われます。そもそも地方自治は、議会を通じて個々の議員が積極的(能動的)に、市長(執行機関)にもものを申し、須坂市に止まらず広域的な政策の提案をし、一方事業計画の進捗、事業完了後の追跡に至るまで目付する議活動でなければいけないと感じています。当然その結果として、議員も政策を主張する以上、首長と同等に政治責任を負う気構えが必要です。議員は単なるアジテーター(扇動者)であってはならないからです。

地方議員は「地方議会の本来の機能・役割である立法、財政、行政監督に帰れ」と佐藤竺成蹊大学名誉教授は提唱されます。小職が議員になって感じたことは、市議会議員は大半が法律家でもなければ財政通でもない言わば素人集団であるということです。しかし行政の組織や機構が複雑で多様化している現在、議会という現場に居る眼からみても、相当の学習欲がなければ議員は勤まりません。大半の議員は行政に対する受動的(行政側から示された範囲内の報告)にチェックこそが議員の本来の役割だと割り切ります。今回マスコミから9月須坂市議会が注目されましたが、それは議会の本来の機能の復権を図ろうとする小職ほか一期議員等と、議員を永く務めるうちに失せる初心や、居心地が良く確かである『現在』に安住している議員との差にあったと思います。

今回の地方自治法改正により、地方議会の権能として機関事務廃止後の事務区分として自治事務と法定受託事務の2種が示されました。自治事務の増加は条例制定権の拡大を意味します。また議会の検閲検査権(自治法 98 条)や調査権(自治法 100 条)などの執行機関に対する監視的権能は自治事務の場合にはすべてに及ぶとされており、機関委任事務には及ばなかった議会の調査権が法定受託事務に及ぶこととなりました。法律全般にわたる基礎力や洞察力が地方議員にも要求される時代がきたのです。市民から、「本会議や委員会で質問をしない、できない議員は、議員の資質と能力を欠く。」と言われても当然です。況んや地方議会で囁かれる「一般質問の原稿を執行機関の職員に書かせて、恰も持論の如く棒読する議員」などは、議員の資質

以前のお話しであり、この類いの議員が厚顔にも議会に居ることは、議会や市民を愚弄していると言われても仕方ありません。

議会の検閲検査権や調査権を行使するにつけても、議員の法的知識の研鑽が必要です。小職は現在の市役所東庁舎を議会棟とし、「議員に個別の自習室」を与えることを提唱しています。さらに議会事務局の充実強化と事務局員の能力向上を図るために、行政執行機関からの独立性を確保し、専門的能力促進のために他市との相互の人事交流や充実した研修の実施をなすべきであります。議会は議員と事務局職員が一体となって「政策の立案、施策、実行後の検証」を練り研究する時間を持つべきであります。それらの成果を議会を通して実践してこそ、そこに地方議会の真価があると申せます。

もはや「片手間議員」とか「市議会議員は素人集団で良し」とする、即ち「須坂の名士」とか「名誉職」の時代ではなく、市民は、市議会議員の資質として、専門性、理念、迅速な決断力と実行力が求められています。「須坂の利益」は近視的に或いは遠視的に焦点は何かを念頭におき、市議会議員の役割を一つ一つ果たすことが大切なことと思います。併せて議会事務職員の行政サイドからの身分の独立と保障を図ることこそが、議会の活性化には不可欠な要件ですが、これは地方議会の抱える大きな課題でもあります。

平成 12 年 10 月 20 日記す

【参考文献】 法学教室 1 号 19 頁、4 号 118 頁、5 号 193 頁有斐閣、法学教室第二期 3 号 92 頁、6 号 28 頁有斐閣、法学教室No.2 09、34 頁有斐閣、月刊地方分権No.1616 頁・ぎょうせい、地方自治の法としくみ p87~・学陽書房、地方自治の要点 p4 4~・学陽書房、地方自治制度 p148~・学陽書房 法学教室No.217 頁 20~, No.218 頁 5~, No.226 頁 4~ 有斐閣

思えば、市議会議員 2 年目のときにこの原稿を書きました。「片手間議員」「名誉職議員」「市長にお任せ議会」を正そうと真摯に取り組む言わば「宣誓書」でもありました。あれから 17 年が経過するなかで、改革が進んだ部分もありますが、中々議会改革は進みません。何が要因かというところ、一般質問に対する議員の姿勢が様でないことです。その意味からして、毎日新聞が議会の一般質問についての特集記事を掲げましたので、以下にお示しします。前鳥取県知事の片山善博氏は、現職の知事でいらした時からの発言は、私ども地方議員のうち真摯に議会改革を望む議員にとって、課題やヒントを示されて多大な影響を与えて下さった「地方自治の指導者」とも申せます。

< 7 道府県議会 > 答弁通告 執行部側、徳島「調整」慣例に

知事ら都道府県執行部の考えや方針をただす議会本会議の質疑で、北海道、大阪など 7 道府県が、執行部側の答弁を事前に質問議員側に伝えていたことが毎日新聞の取材で分かった。東京都は小池百合子知事就任以前は答弁を事前通告したうえで議員と職員が答弁内容を議論する「答弁調整」をしていた。専門家は『「台本」を読み合うだけの学芸会と同じで、本会議は茶番』と批判している。

執行部の答弁要旨について、北海道▽大阪▽徳島▽熊本—の 4 道府県は「通告している」と答えた。また、愛知▽島根▽高知—の 3 県は、議員の質問内容を職員が事前に確認する際、答弁内容を議員側に伝えることがあると答えた。議

員が執行部に質問する要旨などの事前通告は全都道府県議会で実施していた。

通告の理由については「論点を整理して議論がかみ合うように意見交換している」(北海道)「限られた時間内での外れな議論を防ぐ」(熊本県)で共通していた。

徳島県は事前通告に加え、本会議前に県担当者と質問議員が答弁内容について議論する「答弁調整」が一部で慣例になっている。吉野川可動堰(ぜき)問題で紛糾した県議会で2002年、計画賛成派の県議が、計画反対の知事に質問の事前通告を拒んだことがあり、「県側を追及するパフォーマンスが先行した」(県議)ことの反省から事前調整が再開されたという。

徳島県総務課は「国会のように政治姿勢を問うのであれば『ガチンコ』もありだが、行政はデータや法規制を確認しながら現実的な答弁をすることが必要」と意義を強調する。

北海道も答弁案の要旨を事前通告したうえで、職員と議員が意見交換しているという。道議会事務局は「全文をすりあわせて決めているわけではなく、答弁調整には当たらない」としている。

一方、大阪府は議員の要求によって答弁案の全文を示すこともあるという。ただ、府議会事務局によると、08年2月に就任した前知事の橋下徹氏は「原稿通りに答弁しなくなった」。各会派の代表が所属議員の総意を示す「代表質問」で事前調整は残っているものの、野党会派から通告なしの質問も飛び、松井一郎知事が切り返す「ガチンコ質疑」になることもあるという。

東京都は小池氏が「都議とのなれ合いや根回しはしない」と宣言し、9月議会では答弁の事前通告、答弁調整ともしなくなった。知事側近は「議会と緊張関係が持てた。次の議会でも調整せずに臨みたい」としている。【まとめ・杉本修作】

◇学芸会と同じで茶番

前鳥取県知事の片山善博・慶応大教授(地方自治論)の話 非公式に答弁の調整をしているケースはもっと多いのではないかと。議員の質問を職員が考えるケースもあると聞く。台本を読み合うだけの学芸会と同じで茶番だ。答弁の調整は双方にとって楽だが、東京のように自治体が抱える病理が明らかにならない。議会は真剣勝負であるべきで、できなければ質問や答弁に立つべきではない。

出典：毎日新聞 10/30付

かって、このことについて私は一般質問は「やらせ」だと異議を唱えたことがあります。職員に質問原稿を書かせたり、職員の手にかかる質問原稿を恰も自作の如く発言(実は朗読)する議員が居たことも事実です。「議員にあるまじき所業」と議会運営委員会等で発言したのですが、一向に改良されませんでした。

いつのまにか、「年長議員」になった現在、「市長とのなれ合いや朗読議員」は居ないと信じていますが、議会の機能と役割は「須坂の名士」とか「名誉職」を脱皮したことにより更に「議員の一分」としての矜持が求められる時代にあると感じます。

5 【2016年11月期で私が注目したニュースの見出し備忘録】

ニュースの概要	出典機関	月日付
政治編		
2%目標未達は「残念」＝任期と関係なく政策実行―黒田日銀総裁	時事通信	11/1
地方消費税の配分見直し＝大都市集中是正へ検討―自民税調	時事通信	11/1
高山村長選は新人2氏の争いに	信濃毎日	11/1
統計見直し、なぜ議論？＝社会変化に対応―ニュースを探るQ&A	時事通信	11/3
15年度決算を不認定＝一般会計など4年ぶりに―さいたま市議会	時事通信	11/4
日銀松本支店・県内経済「基調としては緩やかに回復している」と判断据置き	SBC	11/7
「森林税有効活用検討すべき」	NHK長野	11/8
政活費不正で辞職13人目＝富山市議会	時事通信	11/8
景気指数、2カ月ぶり改善＝基調判断据え置き―9月	時事通信	11/8
政活費22万円を追加返還＝疑惑で辞職の元県議―山形県	時事通信	11/8
税の無駄1兆2,189億円＝過去2番目の多額―15年度決算報告・会計検査院	時事通信	11/8
在庫あるのに追加発注 県観光機構の不適切会計処理	信濃毎日	11/9
学校トイレ、洋式4割止まり＝ニーズ高いが改修進まず―文科省調査	時事通信	11/10
国の借金、1,062兆円＝1人当たり837万円―9月末	時事通信	11/10
故小坂憲次元文科相に旭日大綬章	時事通信	11/11
企業物価、2.7%下落＝マイナス幅は縮小―10月（日銀）	時事通信	11/11
非正規職員賃金3%引き上げ＝久元神戸市長	時事通信	11/11
（長野県）県観光機構 「大北」と二重写しの不正 【信濃毎日社説】	信濃毎日	11/12
中野市長選 池田氏無投票再選	時事通信	11/13
GDP、年2.2%増＝3期連続プラス成長―外需主導・7～9月	時事通信	11/14
親不同意なら司法関与＝被虐待児の一時保護強化―厚生労働省	時事通信	11/14
安保法、本格運用へ＝駆け付け警護可能に―南スーダンPKO	時事通信	11/15
【潮流底流】変質する自衛隊活動＝治安情勢予断許さず	時事通信	11/15
私学下宿生ら先行実施＝給付型奨学金―自公	時事通信	11/15
補助金不正で県が職員を再調査	NHK長野	11/16
（県内）保育園提出書類 一部市町村の保護者欄、父親名だけ	信濃毎日	11/16
水道事業の民間参入促進＝法改正、税優遇で―厚生労働省	時事通信	11/16
（県内）法人所得 前年度比11%余増	NHK長野	11/16
安保をただす 駆け付け警護 疑問置き去りにするな【信濃毎日社説】	信濃毎日	11/16
賃上げ頼みに不満＝「官製春闘」4年目―労使	時事通信	11/16
いじめ防止で事例集＝道徳での活用呼び掛けへ―文科省	時事通信	11/16
（県内）教員の飲酒運転受け防止策要請	NHK長野	11/17
部落差別解消法案、きょう衆院通過＝今国会成立へ	時事通信	11/17
報告書、3人が酷似＝政活費使った視察で―松江市議会	時事通信	11/17
（県内）県に「早期回収を」 大北森林組合補助金不正で県監査委員	時事通信	11/18

(県内) 県と市町村 事務連携協議 年明けに「チーム」設置へ	時事通信	11/18
T P P、日本手詰まり＝安倍首相訪米も翻意かなわず	時事通信	11/22
150 万円支持が大勢＝配偶者控除の年収引き上げ―自民税調幹部会	時事通信	11/23
自民党の農業改革案骨子	時事通信	11/25
景気判断据え置き＝トランプ政策の動向に「留意」―11 月の月例報告	時事通信	11/25
長野県定期監査 改善など 47 項目	NHK長野	11/27
財政支援減額なら移行困難＝国保の都道府県単位化で―知事会	時事通信	11/28
通学路の安全確保を＝文科省など通知	時事通信	11/28
給付型奨学金、1 学年 2 万人を対象 自公が首相に提言 朝日新聞	朝日新聞	11/30
高齢者負担増で医療費抑制＝高額療養上限、2 段階で上げ―厚労省	時事通信	11/30
負担増で受診控える恐れも＝社会保障	時事通信	11/30
速報＝新潟県は上越市の養鶏場で鳥インフルエンザウイルスの感染を確認した	時事通信	11/30
国の地方創生加速化交付金 県の 2 事業、不採択	信濃毎日	11/30
経済編		
ガソリン価格、5 週連続上昇＝全国平均 126.5 円	時事通信	11/9
10 月の倒産、2 カ月連続減＝商工リサーチ	時事通信	11/9
(県内) に広がる警戒感 米大統領にトランプ氏	信濃毎日	11/10
(県内) ガソリン 5 週連続で値上り	NHK長野	11/11
(県内) J A 県大会 T P P で特別決議	時事通信	11/11
(県内) 地銀・中間決算 マイナス金利で打撃	信濃毎日	11/12
(県内) 企業は中国進出全国 13 位	NHK長野	11/14
ガソリン価格、6 週ぶり下落＝原油安、円高で	時事通信	11/16
賃上げ頼みニ不満＝「官製春闘」4 年目―労使	時事通信	11/16
(県内) ガソリン 6 週連続で値上がり	NHK長野	11/17
ガソリン価格、2 週連続下落＝原油安で平均 125.8 円	時事通信	11/24
乳牛管理システム開発 オリオン機械、販売を本格化	信濃毎日	11/25
ガソリン価格、3 週連続下落＝平均 125.6 円	時事通信	11/30
(県内) ガソリン価格 8 週ぶり値下げ 128 円/ℓ	NHK長野	11/30
県内 8 金融機関、2 桁減益 9 月中間期決算、11 機関出そろふ	信濃毎日	11/30
社会編		
結婚願望 20 代で低下＝子供の希望も、「経済格差影響」―青少年機構	時事通信	11/1
リニア 県内初の工事始まる	NHK長野	11/1
性被害条例の罰則運用を啓発	NHK長野	11/1
(県内) アスベスト含む防音壁、J R 東が県内などで破砕	NHK長野	11/4
県内で軽自動車保有の増加続く	NHK長野	11/4
長野市 ジビエ加工施設整備へ	NHK長野	11/4
骨髄バンク登録促す 県内の関係団体が連絡会議設立	信濃毎日	11/4

倒木下敷き 1 人意識不明 野尻湖畔 同行の観光客 3 人軽傷	信濃毎日	11/4
野尻湖畔の倒木死亡事故 幹に空洞、「ナラ枯れ」か	信濃毎日	11/5
(県内) アスベスト含む新幹線防音壁 JR 東日本、処分場の所在地訂正	信濃毎日	11/5
子ども貧困基金に 7 億円＝安倍首相、記念集会に出席	時事通信	11/8
須坂 長野電鉄置き石疑い 23 歳現行犯逮捕 他事件も関与か	信濃毎日	11/8
「一工夫」して婚活支援 (浜松市)	時事通信	11/9
親の収入 子の進路選択に影響	NHK長野	11/9
市役所でジビエ料理試食会	NHK長野	11/9
須坂 長野電鉄置き石「イライラしてやった」	NHK長野	11/9
長野で初雪、野沢温泉ではうっすら積もる	信濃毎日	11/9
よくかまないとメタボに？＝50 代以上、1,780 人調査—新潟大など	時事通信	10/10
(県内) 障害者施設の安全強化で予算化	NHK長野	11/11
須坂の幼稚園火災 出火時、職員室で調理	信濃毎日	11/11
「結婚したい」急減 20 代女性、シングルを満喫？	日経新聞	11/12
次期介護保険改正、総報酬制の導入焦点に	時事通信	11/14
15 年前の約 2 倍 3,940 頭 県内ツキノワグマ推定生息数	信濃毎日	11/15
子宮頸がんワクチン研究・信州大学設置の委員会「不正はなかった」	信越放送	11/16
前専務理事着服「1 億 5 千万円」 大北森林組合事件で県民向け説明会	信濃毎日	11/16
(県内) 水道利用状況で安否確認 来秋から坂城 (町) で実証実験	信濃毎日	11/23
法曹への道 経済負担で志を諦むな【信濃毎日社説】	信濃毎日	11/24
大北森林組合事件公判 不正受給「県の助言きっかけ」	信濃毎日	11/30
【資料】		
第 149 回◎増加する事務量に対応する視点(2)	時事通信	11/24
シビエと寄生虫やウイルス	出典：ヨミドクター	11/8
増加する事務量に対応する視点(1)	時事通信	11/10
【用語解説】 国連南スーダン派遣団 (UNMIS)＝アンミス	時事通信	11/15

6 壽会佐藤壽三郎後援会

第 21 回佐藤壽三郎議員活動報告会は、平成 28 年 11 月 20 日 (日) から、境沢町公会堂において開催し、凡そ 60 名の参加者を頂いて執り行うことが出来ました。ご参加頂きました皆様に心より御礼を申し上げます。

第 1 部 この須坂を知るために (講演・報告)

○須坂市の人口減少の現状と課題

講 師 須坂市会計管理者 徳竹正明 氏

○須坂市の課題解決のための予算

講 師 総務部 財政課長 中島 久 氏

○インター周辺開発計画について

講 師 まちづくり推進部 まちづくり課
課長 滝澤健一 氏

○この1年間の議員活動の報告

報告者 市議会議員 佐藤 壽三郎

【北信濃鏡】

11/1 森林・林業林産業活性化促進議員連盟総会、水道局・会計課協議、行政書士業務、報道情報整理 /2 行政書士業務、報道情報整理 /3 境沢町文化祭 /4 中堰の協議：河川課、報道情報整理 /5 報告会準備、報道情報整理 /6 角間☼、報道情報整理 /7 中堰陳情現場立会、PC 修理、須坂☼、報道情報整理 /8 市戦没者追悼式、市内巡回、インター周辺等開発特別委員会打合せ、支援者宅訪問、報道情報整理 /9 インター周辺等開発特別委員会下打合せ、商工会議所、J A須高支所、長野出向、孫妙奏来須、仁礼懇親会、報道情報整理 /10 中堰現地立会い、市と協議、報道情報整理、湯っ蔵んど☼ /11 市と協議、報道情報整理、農家組合臨時総会 /12 長野出向、報道情報整理、湯ったり苑☼ /13 市農業委員と意見交換、市動物園訪園 /14 市に陳情同行、議会運営委員会、一般質問に関わる情報収集、支援者懇談 /15 長野経済研究所訪問、長野市内商業施設見学、商工会議所訪問、議会事務局打合せ、報道等情報整理 /16 会報編集、報道情報整理、行政書士業務、一般質問に関わる情報収集 /17 支援者協議、市理事者と協議、報道情報整理 /18 インター周辺等開発特別委員会、金融機関主催講演会、須高市町村議会議員懇親会 /19 市政報告会、市民相談、湯っ蔵んど☼ /20 第 21 回佐藤壽三郎議員活動報告会、意見懇談会 /21 一般質問推敲、報道機関来所、須坂☼ /22 十二月議会招集、議会運営委員会、全員協議会、本会議、予算決算特別委員会、総務文教委員会・分科会、角間☼ /24 総務文教委員会現地視察、長野広域連合打合せ /25 議会運営委員会・広報特別委員会と須高ケーブルテレビとの協議、一般質問内容協議角間☼ /26 ゆきとどいた教育研修会、議員間協議、日中友好協会総会（迎賓館） /27 市理事者と協議、角間☼ /28 議会運営委員会、長野広域連合議会総会 /29 一般質問で登壇、広報特別委員会 /30 一般質問（2日目）



発行日 平成 28 年 11 月 30 日

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

<http://www.zyusaburo.com/> ホームページ

<http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のあなた